

2025年度 6月 2日



オ リ ー フ 通 信

求めなさい。そうすれば、与えられる。
探しなさい。そうすれば見つかる。

マタイによる福音書7章7節
神愛保育園

「6月にはいりました」

そろそろ梅雨入りを感じさせる6月にはいりました。5月には、めずらしく肌寒さを感じる中での親子遠足がありました。4・5歳の保護者の方々には、お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。今月は、花の日礼拝をはじめ、プール開きや水遊び、(4・5歳児)キャンプへ向けての導入準備等、夏の活動が始まります。子どもたちの健康・安全を守り、夏の活動を安全に実施していきたいと思ひます。

さて、今年も5月の半ばに、全職員があつまって「乳幼児救急救命」講習を受講いたしました。毎年、乳幼児専門の救急救命の先生に来ていただいて、人工呼吸の手順をはじめ怪我の際の対応を水遊びが始まる前に行っています。さらに、今年も時間を取って「誤嚥」時の対応も学びました。昨年度、厚生労働省の保育園の事故マニュアルの中に「誤嚥」時の対応も含めるようにと推奨されたからです。また、江東区からも、給食・おやつ時に「誤嚥」事故が起こらないようにと食材指導や注意喚起が各園に通達されています。

以前の食事のメニューでは子どもたちに様々な食材を提供し、旬の食べ物から季節を感じてほしいとの思いをもって、メニューを考えていました。しかし、10年ぐらい前から誤嚥事故を受けて、多くの園からはまずブドウ、ミニトマト、サクランボ、餅、白玉、いか、行事中動きながらの節分のいり豆等の提供がなくなりました。そして、昨年リンゴの誤嚥が起こっているということでリンゴと梨が消えました。現在、園ではこれらの食材は提供しておりません。そのため、残念ですが、果物のバラエティーが、かなり減ってしまっています。

また、今年度から、ひまわり組でも必ず食事の際には、職員一人が子どもたち全員の食事の様子をみる見守り役として配置し事故防止に努めております。嫌いな食材を口にためてしまうことや、話しながら食べている場面、パンの提供時には誤嚥の危険性があるからです。

これから子どもたちの活動が活発になる夏に向かっていきます。様々なところ、予測できないところでの事故にも気をつけていきたいと思ひます。例えば、熱中症対策の水分補給を行うために肩から斜めがけにしていた水筒が原因で走って転んだ際に、内臓に損傷が起こったり、暑い夏に、大人よりも高さが低いベビーカーでの移動は、赤ちゃんにとって大人が浴びる以上に道路の輻射熱を受けて、熱中症にかかったりするのはいれです。園は、もちろんですが保護者の方々もまた社会全体で注ひしたいものです。

保育園は、集団保育の場ですので子どもたちが安全に過ごすために様々

なお願いを以前から伝えております。ぜひ、水遊びが始まる前

に、配布される手紙をお読みいただき保護者の皆様とご一緒に安全の意識を共有していきたいと思ひます。 神愛保育園園長 鵜澤由記子





6月 食事だより



今年度も食育活動をたくさん行っていきます!!

神愛保育園では「郷土料理の日」という献立日を設けて日本の各都道府県の郷土料理を提供しています。昼食とおやつの中で1～2品をその月の郷土料理として提供し、ひまわり組には都道府県の絵本を通して、その土地や食べ物のお話をします。最近は子どもたちの食べやすさを重視して、B級グルメなども取り入れています。



神愛保育園のInstagramにも載っています☆

もう一つの取り組みは、枝豆の栽培から加工までをやってみるという活動です。(年長クラスで行います。) 種まき→お世話→収穫→そのままを味わうところから、潰してずんだにしてみたり、乾かして大豆の収穫→きな粉を作る→乾燥大豆からの豆腐作りまで、一つの食材から色々な食品へと加工していきます。

昨年度はコロナ禍で行っていなかったきな粉作りを復活させ、大盛況でした。今年度は豆腐作りまで出来たら良いなと考えています。先日種まきが終わりました! 大豆になった時に種と収穫した大豆の形状が似ている事に子どもたちは気付くのでしょうか? とても楽しみです♪



その他でも栽培やクッキング活動、お手伝い活動やマナーの話、パペットを使った食育など幅広く行っています。乳児クラスでも栽培の他に『見る・触る・においを嗅ぐ』など実際に食材に触れてみたり、作っているところを目の前で見る(和え物、サラダ、おにぎりなど)、レベルが上がると炒め物など火を使ったクッキングも目の前で見たりします。それらの活動も小さいクラスからの積み重ねであり、時間も少しずつ長くなり、それに伴い座る時間も長くなるので約束を守りながら行うなど、成長に合わせてどのような活動が出来るかも考えて取り組んでいます。

乳児クラスから少しずつ取り組む事で、突然初めての長時間での活動に戸惑いながらやってみるのではなく、このレベルの活動は安全に楽しんで行うことが出来るという事がわかるので、スムーズに新しい事も取り入れる事が出来ています。

近年、食材の価格が高騰しており、気候の変化などで旬の食材が手に入りにくくなっていて、今までやっていたお手伝い活動の回数も減ってきてしまっています。そのような中でも食育活動を通して、子どもたちに少しでも食材に触れてもらい興味を持ってもらえたら良いなと思っています。



保健だより 2025 年6月



5月は25度を越える真夏日の日もあり、半袖シャツで元気に過ごす子ども達の姿がありました。また梅雨の走りのような雨の日もありました。今月は本格的な梅雨の時期となり、高温の日も増えてきます。園では、空調(換気と扇風機・エアコン使用)で温度・湿度管理をしています。感染症対策と共に高温対策も気を配っていきます。

【熱中症に注意】

身体が暑さに慣れる前に高温の日が続くと、熱中症の危険が出てきます。園では、熱気球計を使用し、熱中症アラートが出る危険な日には屋外活動を控えます。ご家庭でも、こまめな水分補給とエアコンの適切な使用で熱中症を防ぎましょう。また、口から水分が摂れなくなる、顔色が悪く会話が難しいことがあったら、救急車を呼んで下さい。園でも熱中症対策をしながら、活動していきます。

【歯科検診】

6月11日歯科検診が実施されます。

虫歯の有無だけでなく、歯周の状態・磨き残し・噛み合わせなどを診察してもらいます。結果は当日お配りします。家庭での様子観察と歯科受診をお願いする場合の2種類になります。また、異常がなかった場合にもお知らせします。歯科受診をされた場合は、結果の提出をお願いします。江東区では最低年一回の歯科検診受診が定められています。なるべくお休みなく登園してください。



◆気になる感染症◆

【溶連菌感染症】

4月・5月と溶連菌感染症が地域で流行しました。溶結性連鎖球菌によっておこる病気で、感染力が強いです。発熱と咽頭痛から始まる事が多く、特に乳幼児は高熱になることがあります。有効な抗菌薬があり、決められた期間抗菌剤を飲み続けることが大切です。登園の目安は抗菌薬内服後24時間以上経過していることと、食事が普通に摂れるようになることです。

迷われた場合には、医療機関を受診し医師の診察を受け、許可を得てから登園してください。



【百日せき】

3月中旬から全国的に流行し、現在も続いています。風邪症状から始まり、次第に咳が増強します。適切な抗菌薬を使うことで、軽快します。月齢が低いと重症化することがあるので、注意が必要です。母体から免疫を受け継ぐことのできない病気なので、定期摂取となっている四種混合ワクチン接種を受けることが重要となってきます。登園のめやすは、抗菌薬を開始後5日以上経過し、特有の咳が消失し、全身状態が良好であることです。また抗菌薬は決められた期間服用する必要があります。(通常2週間)

この疾患は意見書が必要となります。治療後に登園される時には提出をお願いします。意見書は園にあります。また江東区HPからもダウンロードできます。



ひだまり



紫陽花の花も色づき始め梅雨の時期を迎えました。

先日、夏野菜のきゅうり・なす・大葉・枝豆の苗を植えました。大きく成長してたくさん収穫できるようになるのが楽しみです。

保育園の乳児クラスも夏野菜を植えてひだまりの前で育てています。つくし・たんぽぽ組のお友だちが散歩の途中に、ひだまりを覗いて立ち寄ってくれています。なすは紫色、きゅうりとオクラは黄色、枝豆は白色。花が咲いた後にたくさんの野菜ができるのが楽しみです。

ひだまりの野菜たちが大きく育ち、できた野菜を持ち帰って料理してもらって「野菜大好き！」になってほしいと願っています。

保育園の行き帰りに、お子様と一緒に、育っている野菜を見ていただけると嬉しいです。



花の日ってなあに？



1868年にアメリカの教会で「こどもの日」が始まりました。アメリカではこの頃ちょうど学年が変わる時期、教会では子どもたちと大人の交流の時間が持たれ、花の豊かなシーズンだったので、花を持ち寄り飾ったことから「花の日」とも呼ばれるようになりました。日本では、この花を持って病気の方を見舞ったり、社会のために働いている方を訪問したりします。

神愛保育園では、交番、消防署、デイケアセンター、ゴルサムパンや、ご近所の方々を訪問させて頂いています。神の恵みを覚え傍らにいて見守って下さる方々に感謝を表し、子どもたちの訪問を喜んでくださる方がいることを覚えたいと願っております。お花は園で用意したものを持参します。

～神愛保育園卒園の中1・高1の同窓会がありました～

5月31日（土）に今年新1年生になった中学生、高校生の同窓会がありました。中学生4名、高校生3名、どちらの学年でも担任を持っていた旧職員の三上さんが参加してくれました。

今年はケーキ屋さんで好きなケーキを買ってきて、保育園時代の動画を見て昔の自分たちを振り返りながら、ティータイムを楽しみました。中学生の部では、運動会の動画を見ながら「私って龍神太鼓上手じゃない？」「うん、上手だね」と当時とはまた違う感覚で動画を振り返っていたり、ページの動画では昔の自分がスクリーンに映ると「やだ、恥ずかしい」と照れを見せたりする姿もありました。卒園以来久しぶりの再会もあったようですが、すぐに昔の様に話して遊び始めていましたよ。

高校生の部ではキャンプの動画をみんなで見ました。9年も前のことですが、「あの時さ…」など保育園時代のことをよく覚えていて、思い出話に花が咲いていました。

中学1年生



美味しいケーキ
と昔話で盛り上
がっていました
よ♪



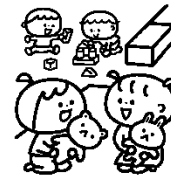
スクリーンの近
くに移動して見
ていました！

高校1年生





ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2025 年 5 月 22 日（木） 天気 くもり もも組（2 歳児）

「いっしょにあそぼう！」

今日は四丁目公園へ散歩に出かけた。滑り台を滑りたい子どもが多く、滑り台が混みあっていた。初めは、A や B も滑りたい気持ちが大きく、「〇〇が！」と順番を守らずに横入りをしてしまう姿があった。その様子を見て保育者が「C はあまり滑れてないね…」と呟き、C が滑れるように子どもたちに声を掛けようとする、A が保育者の呟きを聞いて、「C さん、いいよ！」と自分の前に C を入れてあげる姿があった。その後も、C がロープを上っている姿を見て、「がんばーれ！」と A と B 二人で C を応援している姿があった。友だちとの関わりが増え、自分の事だけではなく周りのことにも目を向けている姿に成長を感じた。友だちと一緒に楽しいを分かち合っている姿だった。

この日は、滑り台が人気で皆で楽しんでいました。四丁目公園の滑り台は階段ではなく、ロープを登っていくために、もも組の子どもたちはたやすく登ることが出来ないのです。滑り台を滑る楽しさとロープを伝って登ることができる達成感も同時に味わうことができるのでしょうか。A も B もやりたい気持ちが勝り、横入りをする姿もありました。担任は日頃の A と B の様子から順番を守り理解している姿もあったため、この場面ではあえて順番を守るように声をかけなかったようです。この呟くように話したことがかえって A と B の二人の心に刺さったのですね。ある程度滑ることができた二人は気持ちも満たされていたことかもしれません。担任の呟きが聴こえてからは順番を守り、C を自分の前に入れてあげる姿へと変わっていききました。自分が楽しいからきっと C も楽しい…その楽しさを分かち合おうとしたのかもしれません。

2 歳児クラスの子どもたちは、1 歳児で芽生えた自我が広がり、自分とは違う存在に出会い、思いがすれ違ったり衝突したりする経験をして自分と他者を知っていきます。他者に対する関心が生まれ、かわりには最初は一方的であったり、上手く伝わらないことも多くありますが、子どもたちの気持ちに共感や理解を示し、言葉で思いを伝えることの大切さも伝えていきます。また、「かして」「いいよ」という友だち同士のやり取りを通して順番などルールがあることも遊びの中で伝えていきます。子どもたちの中に芽生えた「やりたい」気持ちや大きくなった「誇り」も大切にしつつ、自分とは異なる他者への理解に繋がるように見守っていきたいと思います。

2025 年 5 月 9 日 (金)

天気 はれ

ひまわり組 (4 歳児)

「見つけたとおもったら・・・」

大きなアリを見つけ追いかけていた A と B。そこへ C が来て「こんなのつぶせるよ」とアリを踏み潰した。それを見た A と B 「あ！かわいそう…」とアリを見つめていた。C は「だって怖いから (踏んだ)」と話し、違うところへ行ってしまった。

すると B が近くに落ちていた葉をアリに被せた。「優しいね」と声を掛けると「うん、かわいそうだね」と悲しんでいるようであった。B なりに死んでしまったアリに出来ることをしてあげたのだと思い、命について少し考える時間になったのではないかと感じた。

最近、虫に対してとても興味関心を持っている 4 歳児年中さん、図鑑とにらめっこをしている姿もよく目にします。5 月の日誌を読んでいると、行く先々で、虫を見つけては、お友だちと様々な話に発展している子どもの様子がでてきます。今の時期は、アリやアリの巣、ダンゴムシが大好きなようです。

さて、A と B はよく電車やブロックなどで一緒に遊んでいるのですが、一人で集中している姿が多くみられました。しかし、今回、アリを中心として二人で会話をしながら同じものに関心を持ち、相手 (他者) の姿や思いに対して同じように行動したり、配慮できるようになりつつある姿にとっても成長を感じました。専門用語でいわゆる三項関係といわれる、社会性を発達させコミュニケーション能力の獲得を促す自分と他者と者 (物) との関係です。この関係が発達していくと、他者を存在としてだけではなく、一緒に体験を共有することによってそこから、相手の気持ちを理解したり、配慮したりという心の成長につながってきます。

この日誌では、二人で遊んでいる中に、突然 C が現れ、二人の関心ごとであった「アリ」を踏み潰すという悲しい出来事が起こってしまいました。日誌から、二人は、同じ気持ちを持ったようです。日誌ではその後、B に焦点が当たっていますが、A にとっても、B の取った行動は、心に響き、A の心に何かを残したのではないかと推測します。

また、C は行動の理由を、「怖いから」という感情をきちんと他者に伝えることができているようです。きっと、C に対しては、時間を取って話し、そこで A と B 二人が感じた気持ちを伝えることで、自分の行動を振り返り、考えてくれることができるのではと思います。

毎日の様々な積み重ね、楽しいこと、嬉しいことだけではなく、悲しいことや寂しいことという日常の感情に対して、子どもたちと丁寧に向き合うことがとても大切なことだということをこの日誌から教えられます。

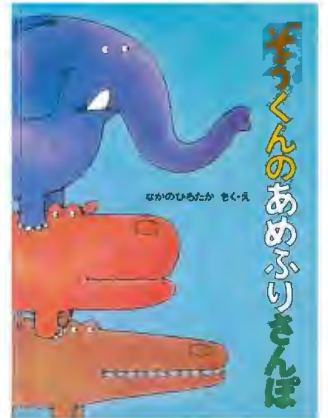


～絵本紹介～

そろそろ雨の季節ですね。雨が降ると、室内で過ごすことも多くなってきますが、子どもたちは雨が大好きです。お気に入りの傘をさしたり、レインコートを着たりと雨の日はウキウキします。また、雨はどうやって降るの？雲の上はどうなっているのかな？と、不思議に思うこともあるかもしれません。今回は、新しい発見があったり、想像したりと、雨の日を楽しめるような絵本をご紹介します。

「ぞうくんの あめふりさんぽ」 作 絵：なかの ひろたか 福音館書店

ぞうくん、かばくん、わにくん、かめくんが、ごきげんにさんぽをする大人気の絵本『ぞうくんのさんぽ』から雨の日を楽しめる絵本が発売されています。池の中をお散歩することになったぞうくん。でも、ぞうくんは泳げないのでどうするのでしょうか。動物たちのほのぼのした助け合いにほっこり心温まる1冊になっています。



「かさ」 作・絵：太田 大八 文研出版

女の子は赤いかさをさして、黒い大きなかを抱えてお父さんを駅まで迎えにいきます。お父さんに会えるまでの道中のこのちょっとした出来事が、黒一色で描かれており、女の子のかさだけが赤く彩られています。文字なしの絵を読む絵本です。子どもたちも絵を読むことで様子を理解したり、絵を見ながら自分でお話を作ったりすることができるので想像力が掻き立てられる1冊になっています。



「あめのもりのおくりもの」 作・絵：ふくざわ ゆみこ 福音館書店

仲良しのクマさんとヤマネくん。雷が怖くて外に出られないクマさんと、きれいなあじさいを見たい一心で雨の中を飛び出していくヤマネくん。でも、大雨で外は大洪水、ヤマネくんが危ない！心配のクマさんは勇気をふりしぼって探しに行きます……。ハラハラドキドキ、でも最後は自然とニッコリ笑顔になれる、そんな絵本です。

